

つながる すみだ人

私の好きな すみだ

今月の1枚
「噴水 手をつなぐ2人」
【撮影】芦田亮史さん

本コーナーへの写真を随時募集しています。詳細は今号3面をご覧ください。
【問合せ】広報広聴担当 ☎5608-6223



佐原滋元さん(東向島在住)

すみだを愛し、すみだで活躍する人をリレー形式で紹介する「つながる すみだ人」。お話を伺った方に次の方を紹介していただき、すみだを愛する人でつないでいきます。第50回は、山草や野草を中心とした文人趣味豊かな江戸花園「向島百花園」(東向島3-18-3)内で「茶亭さはら」を営む、佐原滋元さんです。

Q. すみだでどのような活動をしていますか？

向島百花園内で、表情豊かな自然を感じながらホッと一息つける茶屋「茶亭さはら」を運営しています。時期によっては、季節の甘味などもお楽しみいただけます。向島百花園は、文政期(1804年~1830年)に、私の先祖にあたる佐原鞠塙が、文人墨客たちから協力を得て開園しました。また、平成19年度からは「一寺言問を防災の町にする会」の事務理事長も務めています。この会

では、一寺言問地区を災害に強く、うるおいのあるまちにすることを目的として、地域住民によるまちづくりをめざしています。住民自ら、耐震・不燃化や細街路の拡張等を行う「修復型まちづくり」を進めるとともに、下町の近隣関係を活かした災害時の協力体制をより強くしてきました。その結果、活動開始から10年目に、総務省消防庁が表彰する「防災まちづくり大賞」を受賞しました。

Q. 現在の活動を始めたきっかけは何ですか？

「茶亭さはら」は母の代から運営していて、私は結婚を機に店を継ぎました。現在は隠居を楽しんでおり店頭立つことは少ないですが、店頭にいる頃は様々なお客さんと交流がありました。向島百花園の扉に彫られた「春夏秋冬花不断」(意味は「年中花が絶えない」/上部写真参照)のとおり、草花に造詣が深い方なども来園されますね。

「一寺言問を防災の町にする会」は、「わいわい会」という地域住民の有志の会から発足し、当時から「自分たちが住む地域を災害に強くしたい」という想いで活動してきました。現在は防災を楽しく学べる子ども向けの動画配信イベントを実施するなど、コロナ禍でも地域のつながりを保つためにインターネットを活用した方法に挑戦しています。

Q. 佐原さんは、すみだのどんなところが好きですか？

地域や人とのつながりが深いところ。今や区のシンボルとなった東京スカイツリー®ですが、その建設が決まった当時、建設予定地で投光器を使用してタワーと同じ高さを光で表現する「光タワープロジェクト」を開催しました。地元でタワーの高さを体感してみようという想いから、地元有志のメンバーで実行委員会「平成光勸進プロジェクト」を立ち上げ、私は会長を務めました。当日は、まず東京タワーの高さほどの光のタワーを作った後に新タワーの高さを表現し、その迫力を多くの

方々に感じてもらえたと思います。区内の様々な場所から見えた光タワーに、完成への想いを馳せた方も多かったのではないのでしょうか。プロジェクトの開催までには、特殊な照明器具の準備や放つ光の角度の調整等、大変な作業がありましたが、地域で団結して取り組んだ結果、成功させることができました。この取組は、新聞各社のほかテレビなどでも取り上げられました。地域の声からここまでの事が成せるのは、人情でつながる「すみだ」だったからこそだと思います。



▶光タワーのフォトコンテスト受賞作品(写真左=Web部門最優秀賞「光タワーと屋形船」(ひろ)、写真右=Web部門優秀賞「光が光を呼んで・・・」(マツザキナオト)/平成光勸進プロジェクト実行委員会提供)

◀「庭園を歩けば、木々が風に揺れる音や鳥たちのさえずりが聞こえ、まさに都会のオアシスです。様々な草花たちが、皆さんをお待ちしています。」(写真は4年11月に撮影)

次回登場して下さるのは・・・

建築士で、亀沢四丁目町会副会長を務めるほか、墨田区景観審議会や北斎通りまちづくりの会でも活動されている岸 成行さんです。
【問合せ】広報広聴担当 ☎5608-6223



夢

夢を持って、はばたけ未来へ

墨田区長

山本 亨

1月9日、本区では2078人の皆さんが晴れて「はたち」の門出を迎えました。今年の式典は、昨年4月からの成年年齢の引き下げに伴い、名称を「成人を祝うつどい」から「はたちのつどい」に変更して開催されました。新たに「はたち」を迎えた皆さん自らが企画・運営を担う式典のテーマは、「シン・セイジン“新時代の担い手”」。コロナ禍で新しい日常の実践が求められる中、困難に対して自らの力で乗り越えていく“新時代の担い手”として社会に貢献できるようにとの言葉を聞いて、「はたち」の若者ならではの意気込みを感じました。

夢や目標を持つことは、人を成長させ、人生を豊かにしてくれます。「はたち」の皆さん

にも、それぞれの“夢”実現への大きな可能性が秘められています。ぜひ、自分の夢や目標を探し出し、それに向かって力強くチャレンジしてほしいと思います。

さて現在、令和5年度における区政運営の基本指針に基づき、予算案の取りまとめを進めています。新年度に向けては、「夢」実現プロジェクトに掲げた取組を着実に実施することで、持続可能な“すみだ”を実現するとともに、すみだ型共生社会の実現に向けた取組を進める、「すみだの資源と特性を生かしたまちの活力・魅力の向上につながる取組を進める」、「あらゆる分野でデジタルトランスフォーメーションを強力に推進し、新しい価値の創出を

図るとともに、区民目線で行政サービスのデジタル化を図る」という、3つの大きな柱に沿って、“オールすみだ”で区政運営に取り組んでいきますので、引き続き区政に対するご理解とご協力をお願いします。



「はたちのつどい」実行委員の皆さんと